

## 『七つの海を照らす星』例会レジュメ

### 1. 著者紹介

七河迦南 (Nanakawa Kanan) …早稲田大学卒、2008年当作品で鮎川賞を受賞し、デビュー。覆面作家。デビュー前の作品が公募アンソロジー、『新・本格推理』6・7に載っている。

### 2. 連鎖式長編

中島河太郎が呼び始めた (らしい)。

「一応一話完結でありながら、少しずつストーリーに一貫性を持たせていき、全体を通して読むと長編にもなっている」(日下三蔵) 作品。

日常の謎モノの連作短編によく見られる。東京創元社の十八番でもある。

例：若竹七海『ぼくのみステリな日常』、加納朋子『ななつのこ』、山田風太郎『明治断頭台』

### 3. 七つの海を照らす星

#### 【第1話】今は亡き星の光も

- ・人物の反転
- ・一昨年からおよそ一年たった頃

#### 【第2話】滅びの指輪

- ・人物入れ替わりトリック
- ・“言わなかった”という証言

#### 【第3話】血文字の短冊

- ・叙述トリック (人物誤認)
- ・三単現のsが苦手
- ・「よし、かわらん」
- ・佳音初登場

#### 【第4話】夏期転住

- ・消失トリック
- ・少女から少年へ？
- ・12年前
- ・回文

- ・佳音には解けない謎

**【第5話】裏庭**

- ・叙述トリック（時間誤認）
- ・「私が一年生の時」

**【第6話】暗闇の天使**

- ・フーダニット
- ・ふたりの天使

**【第7話】七つの海を照らす星**

- ・全編を照らしていた一つの星
- ・七つの章で奏でる音
- ・駅伝

**4.終わりに**